

## K. S. 英語英文学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

3か月程度です。ですが、準備というようなものはビザの申請書位しかないので時間が足りないと感じることはありませんでした。

#### ② 語学研修期間

ドイツ滞在中は、ドイツ語集中講座を半年間出席することになります。大学と始業日も終業日も異なりますが、基本的に午前中までで授業が終わるので大学の授業を並行させることも可能です。年明けに一度時間割が変わりますが、どのクラスも殆ど違いはありませんでした。

ドイツについたらまずカウンセラーに会います。その際にテストの日を必ず聞いて受けに行ってください。テストを受ける際、10か15ユーロほど支払わなければいけません。ただし、帰る前に受けるテストに対しては支払いはありません。

授業は、一コマ45分を続けて2～3コマ受けます。文法、リスニング、リーディング、コミュニケーションとあり、コミュニケーション以外は一週間6コマずつです。コミュニケーションは2コマのみでした。授業が始まる前に、大学内の本屋（バス停：campus を降りて坂道を下っていくとあります）か町の本屋で教科書を購入してください。

#### ③ 正規科目履修期間

・履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容（科目ごとに100字以内程度））

大学では、英語の授業を取っていました。とったものは、“British and Irish Literature” というもので、大教室でした。1800年代の作家をそのときの文化や歴史と比べながら考察する授業です。日本のように、登録カード等がなく直接授業に出席して回されてくる紙に氏名・所属学科（カウンセラーから最初に受け取る書類に記載されています。基本的には日本の大学の所属学科と変わりません。ただ、大学に所属学科に近いものがなければ、“判定次第”と書かれることもあります）メールアドレス等を記入してください。大学のホームページに授業の検索エンジンがありますので、そこを参考にしてください。

また、大学内にドイツ人向けの語学学校があります。中にはドイツ語がかなり堪能な方もいます。私はここでデンマーク語の授業に参加していました。事前に先生にドイツ語はそこまでできないと言っていましたが、かなり難しく聞き取りもあまりできない状態でした。ですが、新しく人脈も広がりますし、参加することはとても意義があると思います。アドバイトとしては、参加される場合は事前にその言語の予備知識があった方がよいと思います。この授業の登録はインターネットで行います。登録開始の日・時間が記載さ

れるので、こまめにチェックしてください。

・授業、レポート、定期試験

大学の授業には、大きく分けて3つ授業の形体があります。大教室のもの、人数が多いゼミ、それから、人数制限がされているゼミです。ゼミを受ける際は、授業が始まる前に教授に連絡してアポイントメントを取ってください。ただ、メールが返ってこないことが頻繁にありますので、その際は授業が終わってから話をして下さい。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特にしませんでした。日本語の授業の手伝いをしたくらいです。

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

出発の前に、寮の希望を出すことができます。一人部屋、個室で風呂、トイレと台所をもう一人と共有するもの、個室でお風呂、トイレ、台所を多数と共有するものです。最後のタイプの寮は大学内です。一人部屋は、町に近い場所と大学内と2つありどちらになるかはわかりません。2人部屋は、大学から3つめのバス停から坂道を上がった寮です。

インターネットはどこも完備ですが、無線ランではなくケーブルが必要です。日本から持っていくか、寮で買う形になります。

⑥ 長期休暇の過ごし方

ドイツはクリスマスマーケットがどの町にもあるので、それを見て回るのも楽しいと思います。ドイツ国内へは、DB (Deutsche Bahn) が飛行機になります。DB には、Dauer-Spezial という早期割引チケットと、Bahn カードがあります。

Dauer-Spezial は、早めにチケットを買うことで、一番安くて29ユーロから買えます。これは、29ユーロのチケットの枚数が限られているため、なくなれば次は39ユーロ、59ユーロと、値段が上がっていきます。金額と場所は関係ありませんが、とくにクリスマス前後はすぐにチケットがなくなりますので、早め早めに計画をした方が便利です、

Bahn カードは、25と50の2種類あります。これは、1年間25なら25%オフ、50は50%オフで電車のチケットが買えるものです。25は55ユーロ、50は110ユーロで販売しています。

また、週末には Wochenende Ticket が使えます。金額は35ユーロで、5人までこのチケット1枚で電車に乗れます。ただし、IC・ICE には乗れないので注意してください

## II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

語学学校に加え、大学やドイツ人用の語学学校の授業に出席したことでたくさんの友人

ができました。ドイツ語がうまくなくても、話そうという意志があれば特に語学学校のクラスメートは時間を割いて聞いてくれます。語学力に自信がなくても、自発的に話すようにして下さい。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

ありませんでした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

ドイツ人は真面目というイメージを持たれていれば、失望することになります。仕事中でも私用の携帯の着信があれば優先されることや、中々連絡がこないといったことがたびたびありますが、神経質にならず、こんなものだと思って下さい。

ただ、ザールランド自体はとても治安もよく、怖いと思うようなことは一度もありませんでした。クラブによっては、麻薬等もあるようですが、きちんとした友人と付き合いさえ関係ありません。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：語学学校等が充実していることです。また、食堂は休暇中でもお昼はよく開いています。

悪かった点：ありません

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは必須です。食器等は10ユーロで学校から借りることができますので unnecessary です。食器を返却する際に、10ユーロも返金されます。

③ 語学力の向上等、留学の成果

帰国後、テスト等を受けていないのでどれだけ向上したかははっきりと出すことはできませんが、言いたいことはそれなりに伝えられるようになったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

半年ですので卒業が伸びることもなく、あちらで取った単位も変換してもらえますので、できるだけたくさんの人に経験していただきたいと思っています。何か質問等あれば、  
( ※ ) に連絡ください。

#### IV. 写真



食堂のランチです。これで2, 1ユーロです。



町の風景です。

## K. Y. 社会システム学科・3 年次

### 留学決定から出発までの準備期間

私の留学が決定したのは 6 月でした。留学が決定してからしなければいけないことは色々ありました。

渡航手続き（私は旅行会社を利用しました。でももっと安い方法があったはず。何しろ時間が短かったので、飛行機とか取るのが大変でした）

語学勉強（普段の授業と NHK ラジオを聴いているくらいでしたが）

保険加入（同志社女子大学側の指示に従いました）

ビザの書類の用意（ビザはドイツについてからとります）

ザールラント大学側からの資料を熟読（ドイツ語で書いてある物もあれば、英語で書いてある物もあります。寮の書類もありましたよ。3 種類あります。①高いけど、一人部屋でバス・トイレ、キッチンも自室に有②2 人部屋。と、言ってもバス・トイレ、キッチンは共同。しかしそれぞれに個室は与えられている③最も安いけど、バス・トイレ、キッチン全寮生共同。ちなみに私は②でした）

余談ですが、正規授業についての情報をネットで探すことに困難していました。しかし、見つかりませんでした。

### 到着してから

私がドイツに着いたのは 8 月 29 日。本当は 9 月 1 日が大学での集合の日でした。しかし、余裕を持ちたかったことと、飛行機の賃金の関係でそうになりました。実はここで私は失敗を犯しました。本当は事前に大学側に到着する日と時間帯を Heinz さんメールで連絡しないといけなかったらしいのですが、それを行わなかったため私は無断遅刻したことになり、本来入寮するはずだった寮にはその日入ることができませんでした。しかし、幸いにも Heinz さんのご配慮により、別の Wohnheim の空き部屋に一晩泊めていただくことができたのです。ちなみに Heinz さんというのは、ザールラント大学の所謂国際交流センターの長のような方です。次の日の 9 月 2 日に Studienkolleg のクラス分けテストを受けました。Studienkolleg の授業自体は 9 月の中旬から始まりました。このときは Studienkolleg だけで正規の授業はまだです。9 月の間に行ったことは学籍登録、保険加入、住民登録、ビザの取得（ここで 50 ユーロが必要でした）、生活用品を揃えることです。生活用品を揃えること以外、大体大学側が指示してくださいました。

### Studienkolleg

Studienkolleg はドイツ語の授業です。I と II の 2 段階ありまして、まず Studienkolleg が

初めてな人は I から受けます。I を終えると E テストというものを受けて II へ進むのです。

I も II もそれぞれ a~e までクラスがあります。I の場合 e が一番レベル高く a がものすごく初心者向けですが、II では分野ごとにクラスが違います。例えば、c は文系 e は理系など。クラスはドイツ語を学びに来た人達ばかりなのでもちろんドイツ人は居ません。しかし、いろいろな国の人が居るので楽しいです。大体週 4 日あり、長いときには朝の 8 時 15 分から 13 時 15 分まで授業がありました。休憩時間は 15 分くらいととても短いです。科目は Lesenverstehen, Gramatik, Hörenverstehn, Kommunikation の 4 つです。

### 正規の授業

授業の科目はインターネットで調べました。しかし、私一人の力では当時何も出来なかったので、Tandem パートナーや友人の力を借りて搜しました。同志社女子大学と違って、ほとんどの授業は登録カードというものがなく、ただ授業に出るだけでいいのです。ただし、成績は授業の出席回数とテスト、または発表や宿題などで判断され、そのうえテストの比率が大きい授業が多いのでただ授業に出りゃいいものではなかったです。私はたまたまネット上で発見したドイツナチスに関する Proseminar をとりました。Seminar 形式のものは担当の先生にアポをとってから授業に参加する方が良いと聞いていたので、メールでアポを取り、ドイツ語があまりできない留学生の私でも授業に参加させていただけるか確認を取りました。Lemmes 先生という方でしたが、快く受け入れてくださいました。先生は留学生である私に色々と配慮してくださいました。例えば通常宿題として文献を読み、それを要約しなければならないのに、私の場合読むだけで了承してくださるなどです。その上、最後のプレゼンテーションまでさせていただけました。準備など大変でしたが、授業以外に Tutorium と言ってヨーロッパ独特の補習授業のようなものにも参加し、丁寧に発表の仕方など教えていただけました。

そのほか Jpanishlandeskunde という日本についてドイツ語で勉強するという授業がありますが、これは Sprachzentrum という機関のサイト（大学の HP から行けました）から授業登録をしました。

### 交流

Tandem をしていました。日常会話はそこで身につけられました。あとは、宿題もよくパートナーに聞いていました。ドイツ人の友達は主に Tandem パートナーだったりすることが多かったです。一ヶ月に 2 回、木曜日に Stamtisch というものがありました。軽い飲み会のようなものですが、日本人の Stamtisch がありまして、ザールブリュッケンに住んでいる日本人、または日本語に興味のある人達で集まってお酒などを飲みながらおしゃべりしていました。

どこの寮にも Heimbar という小さなバーがありました。個人的にあまり好きではありませんでした。そこでも友達を見つけました。そして、Wintersemester はドイツで言う年度の始まりだったので私の寮では新入生のための歓迎会があり、そこでも寮の人達と友達になれました。

### **感想**

正直、楽しい留学だったとは言いません。楽しいことも辛いこともそれなりにありました。それでも行ってよかったと思います。この留学は私の価値観を大きく変えたのではないのでしょうか。ちなみに強いてあげるならば、ドイツの良い点はチョコレートとパンがおいしかったことです。悪い点はそれゆえに 8 キロ太りました。

### **これから留学しようと思っている後輩へのアドバイス**

言葉でうまくアドバイスできません。とにかく行ってみてください。そして、普段の勉強はもちろんのこと、休暇中に色々旅行してみてください。世界は日本だけではないってことが、実感できます。そして、恐れずに挑戦してください。わからないことがあれば怖がらずに聞いてください。たとえ間違っても、恥ずかしいのはそのときだけです。最後に、ドイツ留学について分からないことがあれば私を捕まえて聞いてください。出来る限りのことはお助けします。